

氏名	職名	学位
金原 由紀子	教授	博士（人文科学）

担当科目	「美術」、「西洋文化史」、「美術史 C（西洋）」、「西洋美術史」、「世界史特論 I」、「世界史特論 II」、「博物館概論」、「博物館実習」、「総合演習 I」、「総合演習 II」、「卒業研究 I」、「卒業研究 II」
研究分野	イタリア中世および初期ルネサンス美術史
所属学会	美術史学会、地中海学会、西洋中世学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地中海学会 常任委員、講座企画委員（2021 年度～）</li> <li>・西洋中世学会 常任委員（2023 年 6 月～）</li> <li>・公益財団法人戸部真紀財団選考委員（2025 年 4 月～）</li> <li>・法政大学人間環境学部「スタディ・ツアー」のゲスト・スピーカー「ウィーンとハプスブルク家」（2026 年 3 月 15 日）</li> </ul>
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
三野 裕之	教授	政治学修士

担当科目	コース演習Ⅰ／Ⅱ、総合演習Ⅰ／Ⅱ、卒業研究Ⅰ／Ⅱ、情報と社会、デジタルメディア論、ソーシャルメディア論、情報倫理と法、コンテンツビジネス論、情報通信政策論
研究分野	メディア産業論、メディア史
所属学会	日本メディア学会、公益財団法人情報通信学会、日本出版学会、三田社会学会

学会および社会における主な活動	なし
主要研究業績	なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	なし

氏名	職名	学位
加藤 順一	教授	博士（法学）

担当科目	日本史概説Ⅰ、日本史概説Ⅱ、日本史特論Ⅰ、日本史特論Ⅱ、埼玉・川越の歴史と文化、文化政策論、法学の基礎、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、卒業研究Ⅰ卒業研究Ⅱ、日本国憲法、歴史、日本文化史
研究分野	日本法制史、日本政治史、地域文化史
所属学会	法制史学会、三田史学会、慶應法学会、芸林会

学会および社会における主な活動
富士見市入札監視委員会委員（三期目）
主要研究業績
岩谷十郎他編『よくわかる日本法制史』（共著、ミネルヴァ書房）2025年5月
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
加藤 弘之	教授	修士（経済学）

担当科目	コース演習Ⅰ・Ⅱ（経営プランニング）、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、経営組織論、サービス経済論、人的資源管理論、流通経済論、企業マネジメント概論、ビジネスプランニング、競争戦略論研究Ⅱ
研究分野	流通論 消費者行動論 マーケティング論
所属学会	日本マーケティング・サイエンス学会、 日本商業学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
・昭和女子大学グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科非常勤講師	
<b>主要研究業績</b>	
なし	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏 名	職 名	学 位
木村 光太郎	教授	修士 (法学)

担当科目	社会思想Ⅰ・Ⅱ、西欧政治思想史、社会学概論、社会学の基礎、哲学、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	現代社会論、民主主義論、政治社会学
所属学会	日本政治学会、政治思想学会、医学哲学・倫理学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
NPO 法人「子ども大学かわごえ」理事	
<b>主要研究業績</b>	
なし	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
小林 和久	教授	社会学修士

担当科目	社会心理学Ⅰ・Ⅱ、組織コミュニケーション論、ビジネス・コミュニケーション演習（パーソナルブランディング）、コース演習Ⅰ・Ⅱ（ビジネスプロフェSSIONナル）、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、介護等体験事前指導Ⅰ・Ⅱ
研究分野	社会心理学、性格心理学、教育心理学
所属学会	公益社団法人日本心理学会、日本社会心理学会、日本パーソナリティ心理学会、一般社団法人日本教育心理学会、一般社団法人日本SCT学会、日本説得交渉学会、アジア社会心理学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
一般社団法人日本SCT学会常務理事 北陸心理学会第60回大会参加（富山大学：2025年12月）	
<b>主要研究業績</b>	
なし	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
なし	

氏名	職名	学位
小林 正英	教授	博士（法学）

担当科目	地域研究論（ヨーロッパ）、国際政治史、現代の国際社会、国際政治論 公共政策演習（地域研究論（ヨーロッパ））、公共政策応用演習（国際政治史）、 基礎演習 I/II、コース演習 I/II（公共・社会貢献）、キャリア演習 III/IV、 卒業研究 I/II
研究分野	国際関係論、欧州統合論、安全保障論
所属学会	一般社団法人日本国際政治学会、日本 EU 学会、国際安全保障学会、 グローバル・ガバナンス学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
研究会登壇（英語）Towards Aufhebung: Frontex against Imaginary Fear Polarization, personalization, and popularity: How political parties respond to social trends 2026 年 3 月 10 日 Konrad Adenauer Stiftung	
学会討論 Anatomy of Autonomy（「ウクライナ戦争後の欧州安全保障における EU と NATO の役割分担・PESCO の展開を通じた制度間補完性の検討」報告についての討論） 日本国際安全保障学会研究大会 2025 年 12 月 6 日	
学会討論 Words and Deeds?:（「ポスト冷戦後 NATO にとっての 360 戦略」報告について の討論）グローバル・ガバナンス学会第 18 回研究大会 2025 年 5 月 10 日	
<b>主要研究業績</b>	
「第 37 章 ベルギーの政治外交—境界線上の「欧州の首都」」『フランス語圏を知るための 61 章（エリア・スタディーズ 225）』（担当、明石書店 2026 年 3 月 31 日）。	
書評鶴岡路人『模索する NATO 米欧同盟の実像』国際安全保障学会『国際安全保障』2025 年 9 月。	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
研究分担「冷戦終焉期フランスのアジア外交の総合的研究」（研究代表黒田友哉専修大学准 教授、基盤研究 B）	

氏 名	職 名	学 位
高橋 雅子	教授	修士（日本語教育）

担当科目	日本語 I・II・III・IV、日本語リテラシー I・II
研究分野	日本語教育、初年次教育
所属学会	大学日本語教員養成課程研究協議会、初年次教育学会、日本学習支援学会

<b>学会および社会における主な活動</b>
なし
<b>主要研究業績</b>
なし
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 課題番号 23K00632 「日本語非母語話者に着目した日本語教師養成課程：日本語教師の新しい資格に向けて」（2023 年度～2026 年度：4 年間）研究代表者（他 2 名）

氏名	職名	学位
伊達 雅彦	教授	文学修士

担当科目	アメリカ文化論、英語圏文化論、地域研究論（アメリカ）、 メディア・コミュニケーション論（アニメ&マンガ文化）、 広告・広報ワークショップ（アニメ&マンガ文化）、アニメ文化論、 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、基礎英語Ⅰ・Ⅱ、一般英語Ⅰ・Ⅱ
研究分野	アメリカ文学・映画、アニメ
所属学会	日本アメリカ文学会、日本ソール・ベロー協会、日本ユダヤ系作家研究会、 多民族研究学会

学会および社会における主な活動
<p><b>【学会関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本アメリカ文学会本部代議員</li> <li>・日本アメリカ文学会東北支部支部長</li> <li>・日本ソール・ベロー協会理事</li> <li>・日本ユダヤ系作家研究会理事</li> <li>・多民族研究学会機関誌『多民族研究』編集委員</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本英語検定協会（英検）二次試験面接委員</li> <li>・NPO法人英語の通じる街実行委員会 川越英語ボランティアガイド育成講座 テキスト作成協力</li> </ul>
主要研究業績
<p>(1) 「徳永暢三訳『モズビーの思い出』とベローの書簡」(学術エッセイ) 日本ソール・ベロー協会 Newsletter vol.37 (2025.4)</p> <p>(2) 『映画で読み解く現代アメリカ 2 トランプ・バイデンの時代』(共著) 明石書店 (2025.4)</p> <p>(3) 『ユダヤ伝承と表象 現代アメリカ文学・映画における再解釈』(共編著) 彩流社 (2025.12)</p> <p>(4) 『ユダヤの創造力と集合的記憶 アメリカ文学と映画をめぐって』(共編著) 小鳥遊書房 (2026.3)</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学研究費・基盤研究(C)・課題番号：22K00388：ユダヤの創造力と集合的記憶—21世紀のユダヤ系アメリカ文学(2022～2025年度：4年間)共同研究(他2名)</li> </ul>

氏名	職名	学位
真下 英二	教授	修士（法学）

担当科目	総合政策学の基礎、コース演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、現代社会と政治、政治学の基礎、地方自治論、まちづくり政策論、公共政策基礎、政治学Ⅰ・Ⅱ、地方自治研究（大学院）
研究分野	政治学、日本政治、地方自治
所属学会	日本政治学会、日本行政学会、日本選挙学会、日本法政学会、日本経済政策学会

学会および社会における主な活動
川越市総合計画審議会 副会長 川越市生涯学習基本計画審議会 会長 川越市庁舎整備審議会 会長 川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 会長 川越市協働事業推進委員会 会長 特定非営利活動法人子ども大学かわごえ 理事長 政策研究フォーラム 理事 核兵器廃絶・平和建設国民会議 常任理事
主要研究業績
「参政党を知る-参政党支持の背景を探る」（『改革者』2025年11月号） （講演）「参政党を知る」（政策研究フォーラム「改革・政策研究会」講演、2025年10月29日） （講演）「核兵器は安上がり」論から原子力平和利用の途へ」（KAKKIN（核兵器廃絶・平和建設国民会議）研修会講演、2025年11月25日）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
安 章浩	教 授	政治学（修士）

担当科目	行政学Ⅰ、Ⅱ、政治過程論、政策過程論、政治学の基礎、比較政治論、日本政治論、総合演習Ⅰ、Ⅱ、卒業研究Ⅰ、Ⅱ、ガバナンス研究、政治学研究、比較政治体制研究、パブリックマネジメント研究
研究分野	行政学、比較憲政体制研究、公共政策学、政治過程論、英国政治・行政研究、ガバナンス研究、公共経営論、日本の行政改革研究
所属学会	日本政治学会、日本行政学会

学会および社会における主な活動	なし
主要研究業績	著書 1、『行政学への第一歩』WORLD DOOR、2025年（単著）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	なし

氏名	職名	学位
廖海濤	教授	博士（法学）

担当科目	会社法、商法（商行為）、外国法、金融商品取引法、経済経営分析リテラシー、アジア文化論 A、中国語圏文化論、基礎演習 I・II、コース演習 I・II（経営プランニング）、総合演習 I・II、卒業研究 I・II、会社法研究（大学院）
研究分野	商法・会社法、金融商品取引法等
所属学会	日本私法学会、日本比較法研究所（嘱託研究員）、東北大学商法研究会、など

学会および社会における主な活動	なし
主要研究業績	なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	なし

氏名	職名	学位
大西 麗衣子	准教授	修士（教育学）

担当科目	生涯学習支援政策論、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、生涯学習論Ⅰ、生涯学習論Ⅱ、博物館教育論、教育原理、介護等体験事前指導Ⅱ、教職実践演習
研究分野	教育学（生涯学習学）
所属学会	日本生涯教育学会、日本教育制度学会、一般社団法人日本特殊教育学会、大学入試学会

学会および社会における主な活動
<p>○学会における活動</p> <p>2002年5月 日本生涯教育学会 会員「現在に至る」</p> <p>2005年5月 日本教育制度学会 会員「現在に至る」</p> <p>2023年12月 一般社団法人日本特殊教育学会 会員「現在に至る」</p> <p>2024年6月 大学入試学会 会員「現在に至る」</p> <p>○社会における活動</p> <p>2023年5月 川越市教育委員会、川越市公民館運営審議会委員「2025年5月まで」</p> <p>2023年7月 川越市教育委員会、川越市幼児教育振興審議会委員「2025年7月まで」</p> <p>2023年8月 埼玉県教育委員会、埼玉県社会教育委員「2025年8月まで」</p> <p>2023年8月 埼玉県教育委員会、埼玉県生涯学習審議会委員「2025年8月まで」</p> <p>2024年8月 川越市、川越市障害者施策審議会委員「現在に至る」</p> <p>2025年5月 川越市教育委員会、川越市公民館運営審議会委員「現在に至る」</p> <p>2025年7月 川越市教育委員会、川越市幼児教育振興審議会委員「現在に至る」</p>
主要研究業績
<p>○学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「我が国の芸術関係の専門学科を設置する公立高等学校の学科構成及びスクール・ミッション」日本教育制度学会第32回大会、会場・大会校：オンライン開催・山口大学、2025年11月8日、単独、口頭発表</li> <li>・「知的障害特別支援学校高等部専門学科の部活動の現状」日本生涯教育学会第46回大会、主会場・開催方式：文教大学越谷キャンパス・ハイフレックス方式、2025年11月16日、単独、口頭発表</li> </ul>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>科学研究費助成事業 2026年度 基盤研究(C)（一般）</p>

氏名	職名	学位
小柳 達也	准教授	博士（社会福祉学）

担当科目	<b>学部</b> 社会福祉Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論、社会保障論、総合政策学の基礎、ボランティア論、介護等体験事前指導Ⅰ、キャリアプランニング演習Ⅴ公務員試験対策（文章理解）、キャリアプランニング演習Ⅵ公務員試験対策（文章作成）、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ（公共・社会貢献）、総合演習Ⅰ・Ⅱ  <b>大学院</b> 社会福祉政策研究、総合政策特殊研究（個別研究指導）
研究分野	社会福祉学
所属学会	一般社団法人日本社会福祉学会、社会政策学会、日本老年行動科学会、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会、日本地域政策学会、日本地域福祉学会 他

<b>学会および社会における主な活動</b>  日本老年行動科学会 理事（指名理事） 日本老年行動科学会研究委員会 委員 日本老年行動科学会学会誌編集委員会 編集委員 日本福祉のまちづくり学会市民参加のデザイン特別研究委員会 委員（委員長推薦委員） 青森県社会福祉士会法人後見事業第三者委員会 委員長 燕市地域福祉計画推進委員会 委員長 特定非営利活動法人小さな一歩 顧問
<b>主要研究業績</b>  <b>著書および論文、寄稿等（2025年度）</b> 1. 小柳達也・島田拓巳・和久井久光・福馬健一・堀口康太（2025）「地域包括ケア政策の現場における実践者と研究者の協働に関する検討」『高齢者のケアと行動科学』30, 13-29. 【論文（査読有り）】 2. 小柳達也（2026）「社会福祉法人の地域公益活動における高齢住民の社会貢献：関与の多様性みる公共的空間としての位置付け」『月刊 地域ケアリング』28(3), 60-64. 【論文（査読無し）】 3. 日本ソーシャルワーク教育学校連盟監修（2025）『社会福祉士国家試験模擬問題集 2026』共著，中央法規出版. 【著書（問題集）】 4. 小柳達也（2026）「地域福祉における実践と理論の往還：災害ボランティアの実践経験に触れて」『特定非営利活動法人小さな一歩災害救援活動報告書』13. 【寄稿】
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>  <b>継続中（研究期間：2022～2025年度）</b> 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究代表者（単独） 「地域における公益的な取組」を通じた社会福祉法人職員と高齢住民の協働モデルの開発  <b>新規申請（申請年度：2025年度）</b> 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究代表者（単独） 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究分担者（共同：堀口康太＜研究代表者＞、小柳達也＜研究分担者＞、福馬建一＜研究分担者＞）

氏名	職名	学位
角谷 淳	准教授	修士（学術）

担当科目	総合演習ⅠⅡ（再履修） 総合演習ⅠⅡ 日本語リテラシーⅠⅡ 文章表現法ⅠⅡ 文学 基礎演習Ⅰ（再履修） 卒業研究ⅠⅡ
研究分野	古典文学（源氏物語を中心に） 近代文学（二葉亭四迷・夏目漱石を中心に） 近代思想（中江兆民を中心に） アイルランド史日本政治史
所属学会	日本近代文学学会 留学生教育学会 言語文化教育研究学会 言語と交流研究学会 日本法政学会 日本ケルト学会

<b>学会および社会における主な活動</b>	
言語と交流研究学会 会計担当	
<b>主要研究業績</b>	
『二葉亭四迷』 『幼年期の二葉亭四迷』 『青年期の二葉亭四迷』 『旧外語時代の二葉亭四迷』 『源氏物語の妻問婚について』 『アイルランドで考えたこと』	
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>	
特になし	

氏名	職名	学位
田中 啓太	准教授	博士（経済学）

担当科目	マクロ経済学、経済政策論、労働経済論、経済学の基礎、現代社会と経済、総合政策学の基礎、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ（経営プランニング）、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅲ・Ⅳ、経済政策研究（大学院科目）
研究分野	・L.ロビンズの経済学を中心とした20世紀イギリス経済学史の方法論的検討 ・東南アジア地域における環境・福祉政策に関わる実証研究
所属学会	経済学史学会、社会思想史学会、進化経済学会

<b>学会および社会における主な活動</b>
○中京大学経済研究所特任研究員  ○経済学史学会 選挙管理委員
<b>主要研究業績</b>
○論文 2025年12月「P.H. ウィックスティードの経済理論と社会主義への接近」、『尚美学園大学総合政策論集』41号、p. 1-16。
<b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b>
2023年度～2025年度：JSPS 科研費 基盤研究(C)「P.H. ウィックスティードの非合理性と経済学体系」（課題番号 23K01323）研究代表者  ・2026年度 基盤研究(C)研究代表者として申請

氏名	職名	学位
畑中 綾子	准教授	博士（社会科学）

担当科目	民法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、総合政策学の基礎、キャリアプランニング演習Ⅰ・Ⅱ 大学院 契約法研究
研究分野	民法、医事法、生命倫理
所属学会	日本医事法学会、日本生命倫理学会、法と教育学会、日本私法学会、一般社団法人医療の質・安全学会、日本障害法学会、臨床倫理学会、日本保健医療社会学会

学会および社会における主な活動
◆東京都社会福祉審議会委員（～2026年3月）◆順天堂医院「臨床研究審査委員会」委員・順天堂大学薬学部「倫理委員会」委員◆滋賀県長浜市・京都大学共同事業「ながはま1万人ゼロ次コホート事業」特定非営利法人健康づくりゼロ次クラブ・コンプライアンス委員会委員◆東京都北療育センター倫理委員会委員◆日本医事法学会総務委員会◆日本小児科医会倫理審査委員会・外部委員（一般）（2025年7月～）◆厚生労働省欧米の薬事制度に関する研究会・有識者（2025年8月～）
主要研究業績
【論文等】 ① 畑中綾子「生徒の暴言や問題行動を理由とした公立高校の謹慎処分の妥当性」月刊高校教育、2026年1月号 59(1)、96-99頁(学事出版) ② 畑中綾子・瀬戸山陽子「教室にただいだけ」はインクルーシブ教育なのか～障害当事者および親の語りからみる学びの保障」尚美学園大学総合政策論集 Vol.41,p.17-31,2025.12 ③ 論文翻訳:ウィリアム・セイジ「合衆国のヘルスケア・システムーメディケア(高齢者医療保険制度)からポスト・コロナ禍時代の医療ケア政策へ」(訳:岩田太・畑中綾子)神奈川法学第58巻1号 pp.121-146,2025年9月 ④ 畑中綾子「医事法学会学会報告:法学部、医学部以外での学部での医事法、生命倫理と法の教育の意義」年報医事法学 2025 ⑤ 畑中綾子「聴覚障害のある子の就労可能性の算定」月刊高校教育 58(8)、2025年7月号、96-99頁(学事出版)
【学会・講演】 ① Invited Speaker“, The concurrent emergence of an aging society and a digital society in Japan” International Conference 2026,21st Jan.2026 in Indonesia via ZOOM,Enforcement Of Government and Administrative Action In the Digital Age ② 「医療事故調査制度における不報告事例のアンケートに関する中間報告」日本医事法学会、名古屋、2025.11.29 ③ 「AI/ロボットの活用に関する ELSI 勉強会の開催とその経過について」日本生命倫理学会、岩手、2025.11.22 ④ 「インクルーシブ教育における合理的配慮の状況」日本保健医療社会学会、長崎、2025.5.25
【その他】(メディア出演) 1 NHK おはよう日本「医療事故調査制度創設10年に寄せて」2025年10月27日
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
2023年12月～2025年5月ファイザー研究助成(国内共同研究)「高齢者を支援する先端技術とその法的・倫理的課題の検討」(共同研究者)450千円 2024年11月～2026年3月 SOMPO 福祉財団ジェロントロジー研究助成(研究代表者)「高齢者支援技術の導入による高齢者の内心の自由および自由な意思決定の侵害に対する ELSI (法的倫理的社会的課題)の研究」500千円 2025年2月～2026年3月日立財団・倉田奨励金(研究代表者)「脳波測定等による感情認識技術と障害者の内心の自由」1,000千円 2025年2月～2027年3月司法協会研究助成(研究代表者)「医療事故調査制度への不報告事例の分析を通じた制度課題の検討～制度創設から10年の節目にあたって」900千円 2025年11月～2026年11月日本臨床倫理学会研究助成(研究代表者)「代諾に関する臨床倫理的課題と司法介入の可能性ー国際比較を踏まえた検討」300,000円

氏名	職名	学位
御手洗 大輔	准教授	修士（法学）

担当科目	<p>学部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法学の基礎、日本国憲法、憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、地方自治法、行政法、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、キャリアプランニング基礎（公務員試験対策）、キャリアプランニング演習Ⅰ公務員試験対策（数的処理①）、キャリアプランニング演習Ⅱ公務員試験対策（数的処理②）、キャリアプランニング演習Ⅲ公務員試験対策（数的処理③）、キャリアプランニング演習Ⅳ公務員試験対策（数的処理④）、キャリアプランニング演習Ⅴ公務員試験対策（文章理解）、キャリアプランニング演習Ⅵ公務員試験対策（文章作成）、キャリアプランニング演習Ⅶ公務員試験対策（社会科学①）、キャリアプランニング演習Ⅷ公務員試験対策（社会科学②）、コース演習Ⅰ（公共・社会貢献）、コース演習Ⅱ（公共・社会貢献）</li> </ul> <p>大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法研究、行政法研究Ⅰ、行政法研究Ⅱ、税法研究Ⅰ（総則）。</li> </ul>
研究分野	法学
所属学会	なし

<p><b>学会および社会における主な活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市男女共同参画推進協議会委員（学識経験者）</li> <li>・先生図鑑 2025「私たちの社会に必要な決まりを探してみよう」</li> </ul>
<p><b>主要研究業績</b></p> <p>書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単著『学修の知恵手帳』デザインエッグ社 2025年9月</li> <li>・単著『日本国憲法論講義』デザインエッグ社 2026年1月（第6刷）</li> </ul> <p>論文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「退職金課税に関する政策論議における法的役割について」『尚美学園大学総合政策研究紀要』42巻1頁・15頁所収</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記先生図鑑 2025に基づく体験講義</li> </ul>
<p><b>文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科研費「法学答案形式を組み込んだ教授学習支援システムの基本構造に関する研究」（基盤研究C）に応募。</li> </ul>